



秋桜だより

第 30 号 令和元年 8 月 発行
埼玉純真短期大学 秋桜会事務局
〒348-0045 埼玉県羽生市下岩瀬 430
<http://www.sai-junshin.ac.jp>

会長挨拶

会長挨拶

第 8 回生 児童教育学科幼児教育学専攻 小林ひかり



同窓会会員の皆様に、おかれましては、益々のご健勝のことと、お喜び申し上げます。

今年もこうして、会報が発行できるのも、会員の皆様のおかげと感謝しております。

毎年、新卒業生が同窓会組織の一員となっていくので、会員数が、増えていくのは当たり前ではありますが、一年ごと、層が厚くなりながら増えていくわけです。会員の年齢の幅も広がってまいりました。

子育ても、そろそろ卒業の方、自由な時間が取れるような方、思春期のお子さんと真っ向勝負の方、やんちゃ盛り、よちよち歩き、妊活中、恋愛中、もちろん、お仕事バリバリ頑張っている方々、と、置かれている立場も、様々なことでしょう。

私は、子どもが、2人いて、息子が24歳、娘が19歳です。なんだか、あっという間でした。今、ちゃんと向き合っているのかなと振り返ります。そんな私ですが、若いママや、若い先生方から、相談を受けることもあります。

「皆そういう時期を体験するよ、おんなじ、おんなじ、頑張った」と、エールを送る反面、客観的に見ることもでき、少しアドバイスも、出来るような立場となりました。

子育て中に、よく、「待つ」ことが大事とあります。子供は、さまざまな体験を通して成長し、得られる知識、感覚、感情、記憶などが、成長過程に重要です。

これらを成長過程で子供が得るためには、親が待つということが必要になります。

子供は何をするにしても無駄な動作が多かったり、手を止めたり、立ち止まったりして時間がかかります。着替えたり、ご飯を食べたりするのも時間がかかります。

しかし、大人がそれを待ってあげることができず、先回りして子供の行動をフォローすることは、子供が体験をする機会を奪ってしまうことになります。

また、「何もたもたしてるの!」、「早くしなさい!」と何度も言われ続けて育つと、幼い頃にたくさん聞いた親の言葉が、

自分の行動を縛るメッセージとして定着してしまいます。そうならないためには、余裕を持つ方法や、気づかせる言葉がけなどなど、ポイントがいくつかありますが、それはまたの機会に。

保育の現場でも、やはり、保育の重要な一つが「待つ」ことです。

「待つ」といってもいろいろあります。多くの人が真っ先に思い浮かべるのは、先にも書いたように、子どもが自分のペースでなにかをしているのを大人がそれに合わせて待つという、「行動を待つ」ことでしょう。

ただ、やみくもになんでも待てばいいものでもないですね。また、心理面での、待つが、大事です。それは、どういうことかということ、子どもの「成長を待つ」ということです。

例えば、子ども同士がケンカをしてしまったとき、「ごめんなさいって言うおね?」「はい、仲直りしようね?」など、保育者がそこに介入して、取った遊具を返させたり、謝らせたり、仲直りさせたりといったアプローチをしていません。

このような関わりは保育以前に、一般家庭の子育ての中ではごく普通になされていることであり、それを保育の中でしているところも少なくありません。

ですが、こうしたアプローチはプロの保育者としては適切なものではないと考えます。その理由は、この保育者が介入してモノを返させたり、謝らせたりといったアプローチは、子どもの成長を「待てていない」端的なケースだからです。これは、保育者が「(大人から見て好ましい)結果を、無理に作り出している」にすぎないのです。もちろん、当事者の保育者はトラブルの無いように、と誠実に動いているわけです。しかし、現実にはこのようなアプローチをしても子どもは成長していきません。

他にも、こんな事例もあります。

2歳児が思い通りにいかないことがあり、泣いていました。保育者が良かれと思ってその子をあやして泣き止ませようとしています。

どうでしょうか?多くの人が、日常の中ではほとんど無意識に何気なくやっているといます。むしろ、それをしないと「冷たい保育士ね」と上司や同僚に非難されたといった話すら耳にします。

しかし、こうしたアプローチは、親切ではあるけれど専門的ではないかもしれません。というのも、それは子どもの成長の機会を奪うことになっている可能性があるからです。

目次

P1: 秋桜会会長挨拶

P2: 埼玉純真短期大学学長挨拶

P3: 35 回生 秋桜会役員のご紹介

P4: 図書室、卒業生も貸し出しできること

P5: 模擬保育室が完成した

P6: 公開講座: リカレントについて

P6: 純真祭のご案内

秋桜会からのお知らせ

成長につながることは、子ども自身が経験していく必要があります。

つまり、どういうことかという、子どもには自分で乗り越えられることと、そうでないことがありますね。子どもの成長の姿は、乗り越えられないことがたくさんあるところから出発して、だんだんと多くのことが乗り越えられるようになっていきます。でも、そのためには成長につながることは自分で経験していなければなりません。

もしかすると、その2歳の子に直接介入しなくとも、保育者があたたかく遠目で見守っているだけでも、その子は乗り越えられたかもしれないのです。そのためには、一見ネガティブと見える状況があったとしてもそこに手を出さず「待つ」姿勢が、保育者の専門性として必要なですね。

子どもが成長するためには、さまざまな実地の経験が必要です。その中には、一見大人から見たとき好ましくない行為も含まれています。大人は、自身の先入観から、外から見て好ましいものばかりを成長のための経験だと、とらえがちです。好ましくないことであっても子ども自身に経験させてみる、その結果、自発的な成長にいたるというのが、本来子どもの成長にとって必要なことなのです。それは、この「子どもの成長を待つ」という専門性が、理解されていなかったり、理解されていても実際にやってみることが難しかったりもします。

私たち保育者は、立派な結果を作り出すのではなく、立派でなくてもいいから子ども自身の本当の成長を待ち、そこを一緒に喜んでいくことが本来の仕事なのだと思います。

この「待つ」ということを専門性として受け止められるようになると、さらに他の何気ないのだけど実は重要な専門性が見えてくるのではないのでしょうか？

新役員さんと、顔合わせをいたしました時、みなさんの、園の様子を伺い、それはそれは、千差万別。

方針や過ごし方等は、違えど、やはりどの園も、どんな先生も子どもたちの成長を一番に一喜一憂し、過ごしていることにはかわりないようです。

そんな、保育について、世代を超え、一緒に語り合える場が持てたらいいなあ、と思います。ぜひ、母校へ一人でも多くの卒業生である会員の皆様に足を運んでいただき、総会などでは、恩師や、在学の学生と触れ合ったり、純真祭や母校を懐かしみ楽しんだり、そして、同窓生同士のつながりをさらに、深くしていけたら幸いです。

同窓会事務局では、役員の方でなくても、共に活動して下さる方を随時募集しております。ちょっとでも、興味ある方、ぜひ、お声がけください。

最後に、会員の皆様の益々のご発展、ご健勝を心より祈念し、たしまして、挨拶にかえさせていただきます。

学 長 挨 拶

母校に、今年こそ遊びに来ませんか？

学長 藤田利久



卒業生のみなさまもお元気でお過ごしのことと存じます。

一度、母校、埼玉純真短期大学に遊びにいらっしやいませんか？

国道122号線（埼玉純真短期大学と羽生総合病院前）を車で通る機会はありませんか？

運転中のよそ見はダメですが、ちょっと母校に目を向けてください。研究棟に“Junshin”のロゴが目に入るとと思います。

本学も「こども学科」単科の女子短大と再出発をしてすでに10年の年月が過ぎました。この間、高等学校はじめ地域の方々のご理解とご支援をいただき順調に進んでおります。特に昨今は18歳人口の減少と相まって、大学の定員割れが報道されますが、



おかげさまで本学は高校の先生や生徒の皆さんからも幼児教育者養成に高い評価をいただいております。

10年といえば羽生市内の保育所から幼稚園・小学校・中学校・高等学校、そして本学等の教育機関が互いに教職員や児童・生徒・学生間の交流を深め、羽生の教育をより高めていこうとする「羽生市学びあい夢プロジェクト」も10年目を迎えております。

これからは会社に限らず学校を含め、すべての組織は互いに連携・協力していかなければならない時代となっています。本学でも羽生市と連携協定、行田教育委員会とも連携、平成国際大学（加須市）、ものづくり大学（行田市）と本学（羽生市）との3市3大学での連携協力協定、埼玉県立誠和福祉高等学校、埼玉県立進修館高等学校、埼玉県立羽生第一高等学校と高大連携協定を結ぶなど、地域や学校との連携と協力、そして教職員や学生の相互交流をととして、本学の教員教育養成機関として一層の充実発展を目指しています。

その一環で、昨年度はものづくり大学の学生と本学の学生とのコラボレーションで「模擬保育室」も作られました。また国際的な教育連携も「スティバ・サラスワティ外国語大学」や「国立ガネシャ教育大学」と教育交流協定を締結し、交流訪問をしています。

これら時代の変化にともない、教育・学習環境や方法も変化をしています。まず、授業は黒板を使つての教師の一方的講義からグループワークなど学生主体の授業が主流となっています。そ





のために本学のすべての教室にはプロジェクターが設置され、研修棟の教室はすべて可動式の机と椅子が置かれ、すぐにグループワークができるようになっています。

また、施設設備においては学生用トイレも昨年から今年にかけて全面的に改装をしています。

また研究棟の外壁には「Junshin」のロゴと「蔓（つる）」のデザインが国道 122 号線や隣の羽生総合病院からも見えるようにしました。この「豆蔓（つる）」は、花言葉で「永遠に続く成長と良好な人との関係」とも言われています。

このように毎年の少しずつ変化をしております母校にぜひ一度、お立ち寄りいただき、学生時代の青春の日々を思い出していただければと思っています。

6 月 29 日（土）から 9 月 14 日（土）まで 6 月から毎月 1 回、公開講座も開催していますので、この講座に参加しながらの母校

訪問はいかがですか？

Web ページ：

<https://www.sai-junshin.ac.jp/>

電話番号：(048) 562-0711



35 回生 秋桜会役員のご紹介

今年 3 月に卒業され、今年度より秋桜会役員として、ご活躍して下さいます新役員の方々をご紹介します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

五十嵐 悠	新役員になりました五十嵐悠です。保育園で 2 歳児の担任をしています。子どもたちから日々学ぶことだらけですが、自分自身楽しんで保育をしています。役員の方も頑張っていきたいと思うのでよろしくお願いします。
池山 莉帆	新役員になりました池山です。現在はこども園で 3 歳児の副担任をしています。仕事も役員も一生懸命頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。
井澤 里菜	新役員になりました井澤です。現在、保育園で 2 歳児の複数担任として日々保育をしています。役員会の方にも力を入れて行きたいと思っています。宜しくお願いします。
石山 彩水	新役員になりました石山です。現在は幼稚園で 2 歳児の担任をしています。毎日バタバタですが、子どもたちと笑顔で楽しく過ごしています。役員の方も頑張っていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。
伊藤 瑞季	新役員になりました伊藤です。現在、母園だったこども園で 4 歳児の担任をしています。毎日大きな園庭を走り回ったり、和太鼓や鼓笛を教えています。役員の方も皆さんのお力になれるよう頑張りますので宜しくお願いします！
小澤由衣花	新役員になりました小澤由衣花です。こども園で 2 歳児の担任をしています。かわいい子供達に囲まれ、楽しい日々を過ごしています。精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。
佐藤 幸奈	新役員になりました、佐藤幸奈です。保育士で 0.1 歳児の担任をしています。役員も精一杯務めたいと思います。よろしくお願いします。
関谷 綾華	新役員になりました関谷です。現在は、羽生市の公立保育所で 3 歳児の担任をさせていただいております。5 人という少ない人数ですが、毎日明るく楽しく子どもたちと過ごしております。また、役員として私に出来ることは精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
園田 菜実	新役員になりました園田です。保育園で 1 歳児の担任をしています。毎日楽しく保育を頑張っています。精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。
田山菜々美	保育園で 1 歳の担当しています。毎日子どもたちとお外で元気に遊んでいます！役員も保育士も精一杯頑張ります。よろしくお願いします。
高橋 優希	秋桜会役員になりました高橋優希です。現在保育園で 2 歳児の副担任をしています。元気いっぱいな子ども達と共に毎日楽しく過ごしています。頑張っていくのでよろしくお願いします
高橋 未来	一歳児クラスを複数担任で受け持っています。園の先生方と楽しく保育しています！保育、役員、共に頑張っていきます。よろしくおねがいします。
中村 悠花	保育園で 5 歳児の担任をしています。『先生！』とニコニコで声を掛けてくれる子どもたちに癒されながら楽しく仕事しています。仕事と両立しながら秋桜会の方も頑張っていきます。よろしくお願いします。
林 夢桂	幼稚園教諭で 3 歳児の担任をしています。今は、何もかも必死で行なっている状態ですが役員も共に頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。

細沼 春花

新役員になりました細沼です。笑顔いっぱい溢れる子ども達と毎日楽しく過ごしています。精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

村社 梨花

新役員になりました村社です。現在幼稚園で 4 歳児の担任をやっています。毎日子供達と共に楽しく過ごしています。役員も頑張りたいと思います！



以上の方々の他に、梅澤瑞穂、長澤弥紅、田端明日香、山口聖央、内藤夢乃、宮崎彩伽、野中成穂さんがいらっしゃいます。

卒業生にも、本の貸し出しを

小林 ひかり

先日、学校の図書室を訪れました。

相変わらずの充実さに、学生たちは、ほんと、ありがたいです。ねと、話すと、なんと、卒業生にも、貸し出しをしてくださることになったそうです。ぜひ、足を運んでみてください。

本学の図書館には、保育や幼児教育、福祉関係などの専門分野を中心に、学術書や専門書、教養や実践にいたる書籍を約 5 万冊揃えています。雑誌は、授業や実習のためだけではなく、娯楽誌を館外のラウンジで閲覧できます。AV コーナーでは、学習用視聴覚教材とともに、映画やアニメの DVD を排架し、館内ブースで視聴できます。

卒業生の入館方法

- ・本学卒業生は身分証を提示して下さい。
- ・バッグ、コート類の荷物および飲食物は持ち込みできませんので、指定のロッカーへ預けて下さい。

利用資格

- ・館外で利用したい本や雑誌は、カウンターで帯出の手続きをして下さい。
- ・利用者の帯出できる冊数および期間は次のとおりです。

利用者	冊 数	期 間
本学の教職員	20 冊	30 日
本学の学生	10 冊	14 日
本学の科目等履修生	10 冊	14 日
本学の卒業生	5 冊	14 日
他大学等の教職員・学生	閲覧・複写のみ	閲覧・複写のみ
他大学図書館等からの相互利用	5 冊	30 日

- ・長期休業期間や実習用貸出等の冊数および期間が異なる場合があります。
- ・貸出図書は、他の者に又貸ししてはいけません。
- ・貸出中の図書は、他に予約がない場合に限り、帯出期間を 1



回まで延長することができます。

- ・借りたい図書が貸出中の場合は、予約することができます。
- ・返却手続きは、期限内に本人がカウンターまで帯出資料を持参して下さい。

開館&休館

- ・開館時間：開館日の 9 時 00 分から 18 時 00 分まで
- ・休館日は、次のとおりとなっていますので、開館カレンダーをご確認ください。

日曜日・土曜日および国民の祝日
創立記念日
長期休業中の一定期間
図書館長が必要であると認めた日

図書館間相互利用

所蔵していない資料は、他大学図書館から現物を借り受けることができます。また、論文など、一部のページのコピーを取り寄せることもできます。

詳しくは、図書館スタッフにお問い合わせ下さい。

お願い

図書館は、できるだけ楽しく利用していただきたいと思いますが、皆さんが使用するスペースですので、ルールを守り、くれぐれも静粛にご利用下さい。

ここに記載していないことは、「埼玉純真短期大学図書館規程」をご確認下さい。



模擬保育室が完成

ものづくり大学と純真の学生とで、共同研究プロジェクトとして、昨年から、計画されていましたが、ついに、3月に模擬保育室が完成しました。

ぜひ、卒業生のみなさん、お部屋を覗いてみてください。



『公開講座、リカレントについて』～母校でもう一度学びませんか？～

母校で、公開講座を開講していることは、ご存知ですか？
例えば、

☆ 1 曲弾ければあなたもピアニスト と、題して弾いてみたい曲を個人レッスン。

☆ 世界に響く歌声を求めて、と題し、客員教授でもあるオペラ歌手でもある原田勇雅先生による声楽の基本から応用、その魅力を伝えていただき、伸びやかな歌声を目指す講座。

ほかにも、

☆ 韓国料理教室 ☆ 和菓子作り ☆ 陶芸教室 ☆ 香り絵

☆ 折句 ☆ お茶講座 ☆ 折り紙教室

☆ コラージュ技法（はらぺこあおむしのエリックカールさんなどの絵本に使われている技法）を楽しむ講座

☆ ペン字、筆ペンの講座 ☆ パーソナルカラー

☆ 驚きの各国昔話比較講座などなど他にもたくさん、魅力ある興味そそられる楽しいものがたくさん。

また、「発達障害について」「子どもの虐待の現状について」など、われわれが、どう関わったり、対応したりすればよいかを考える講座も開講です。



そして、リカレント講座を開講されています。

リカレント教育とは、社会に出たあと、また、必要に応じて、教育機関に戻り学び直しをし、また、社会へと貢献していくことです。

現在働いているが、もう一度学び直しをしたいという方、現場からは退いているが復帰を考えている方、ぜひ、リカレント教育を受けてみませんか？

今年は、すでに、6.7 月におわってしまいましたが、次のような内容でした。

☆ クラスで子どもたちが楽しめる教材研究（持田京子准教授）

☆ 子ども虐待の対応について考えよう（高橋努准教授）でした。

来年も、また、開講予定あるそうなので、ぜひ、リカレント教育を受けてみませんか？

公開講座や、リカレント等、常に、学びあい、高め合う、そして、面白い私たちでありたいとおもいます。



受講費は、1000 円（高校生以下は無料）

何講座でも受けられます。

材料費がかかる講座は別途徴収。

終了証授与あり、修了式には、ピッツフェランチ

作品展、発表会などもあります☆☆☆

詳しくは、

<https://www.sai-junshin.ac.jp/> ホームページへ。

秋桜会総会を開催します

【秋桜会総会】

開催日時：令和年 10 月 27 日（日）13：00～

開催場所：埼玉純真短期大学内 マナー教室

◎同封いたしました、秋桜会総会への出欠席のはがきの返信につきましては、10 月 17 日（木）までお願いいたします。
多くの皆さんのご参加をお待ちしています。



同窓会(クラス会)開催の支援について

秋桜会では、同窓会（クラス会）を開催するにあたり告知用の往復はがき代（100 円×クラスメイトの人数）についての費用負担をするという支援を行っています。

こちらの支援をご希望の方は、下記秋桜会事務局へ代表者の卒期・学科・お名前・住所・電話番号・整理番号を明記し、ハガキ又は封書にてご連絡・問い合わせ下さい。

秋桜会からのお願い

◎住所・氏名変更について

住所・氏名等が変更になられた方は、必ずお知らせください。

◎お問い合わせについて

この会報に記載されている全ての記事に関するお問い合わせについては、お手紙、もしくはハガキにて下記の住所へ送付願います。お電話でお問い合わせいただきましても、即時回答することができません。回答には少々お時間をいただくことになりますが、そのような方法でお願いいたします。また、お手伝いいただける方、住所、氏名変更された方も下記の住所へご連絡ください。

お問い合わせ先：埼玉純真短期大学秋桜会事務局

〒348-0045 埼玉県羽生市下岩瀬 430